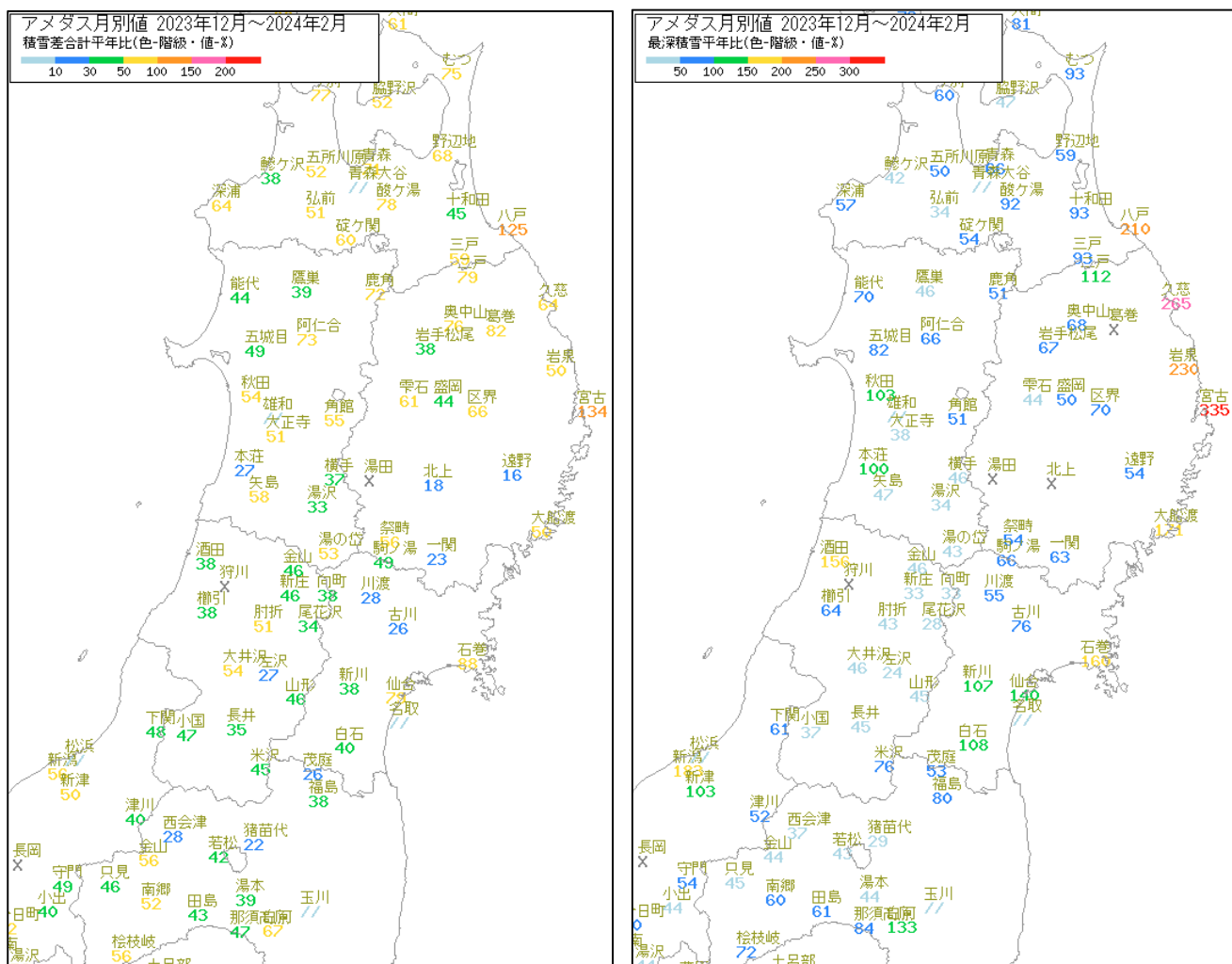


# 湯水情報連絡会（臨時会）

令和6年3月 秋田地方気象台

## 【東北地方の降雪・積雪平年比：2023年12月～2024年2月】



## 【秋田県の冬の特徴：2023年12月～2024年2月】

### 12月 ・特になし

冬型の気圧配置や低気圧等の影響で曇りや雪又は雨となる日が多く、大雨や大雪となった所があった。また、冬型の気圧配置や前線の影響で暴風となった所があった。

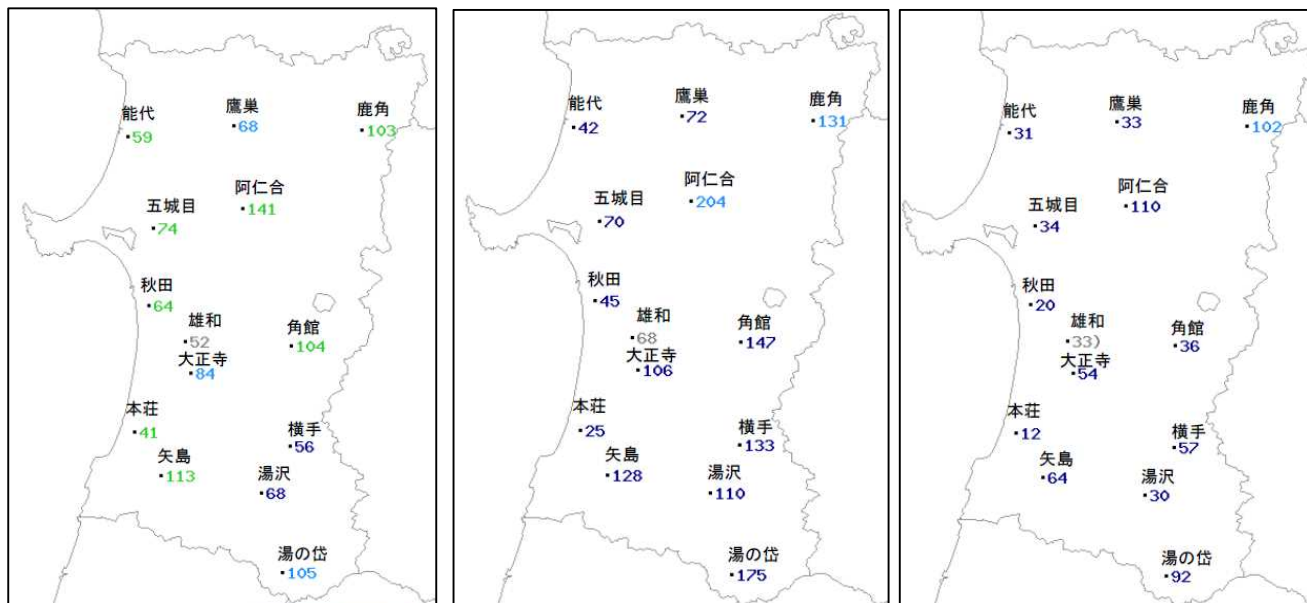
### 1月 ・高温、少雪

冬型の気圧配置や気圧の谷等の影響で、曇りや雪又は雨の日が多かった。また、寒気の影響が弱く、暖かい空気に覆われる日もあり、気温が高い状態となって、多くの観測点で1月としての月平均気温の高い方から1位の記録を更新した。

### 2月 ・中旬の高温、少雪

低気圧や気圧の谷、冬型の気圧配置等の影響で、曇りや雪又は雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。15日は前線を伴った低気圧の通過により、県内の広い範囲で大雨となった。また、特に中旬は暖かい空気に覆われやすかったため、気温が高くなり、2月としての日最高気温や日最低気温等の高い方から1位の記録を多くの観測点で更新した。

アメダス月別の降雪量（積雪差合計）観測値（単位：cm）

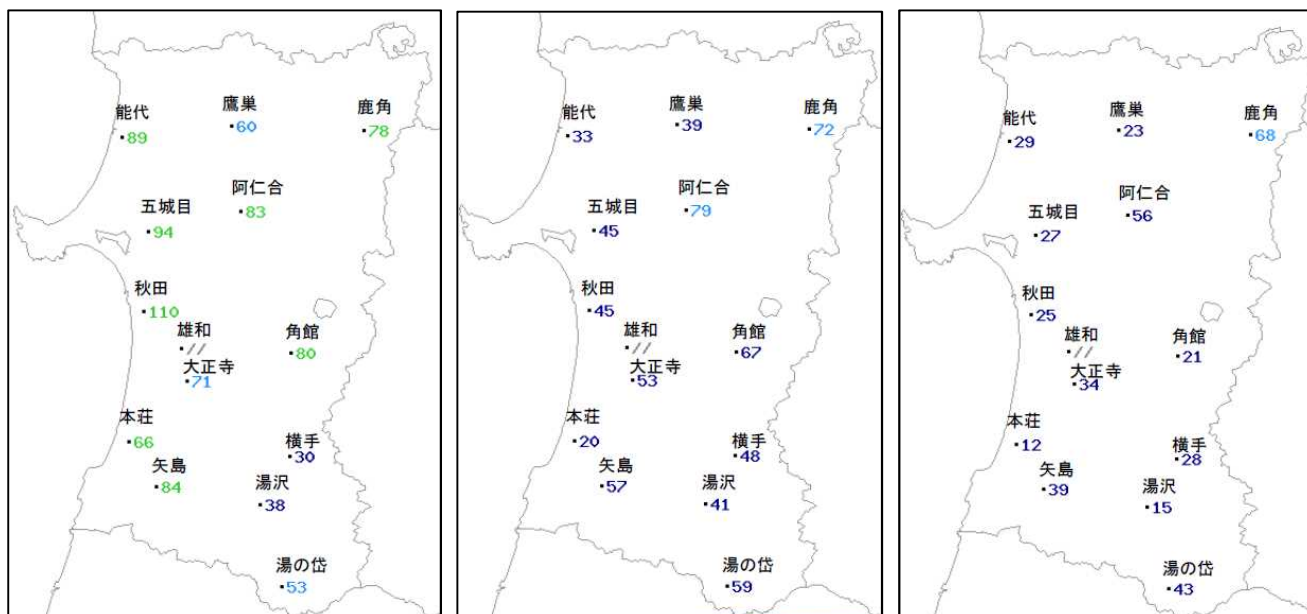


2023年12月

2024年1月

2024年2月

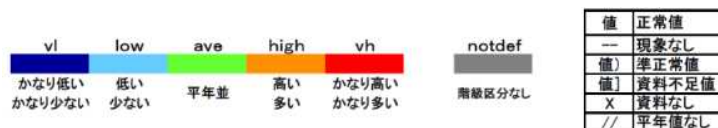
アメダス月別の降雪量（積雪差合計）平年比（単位：％）



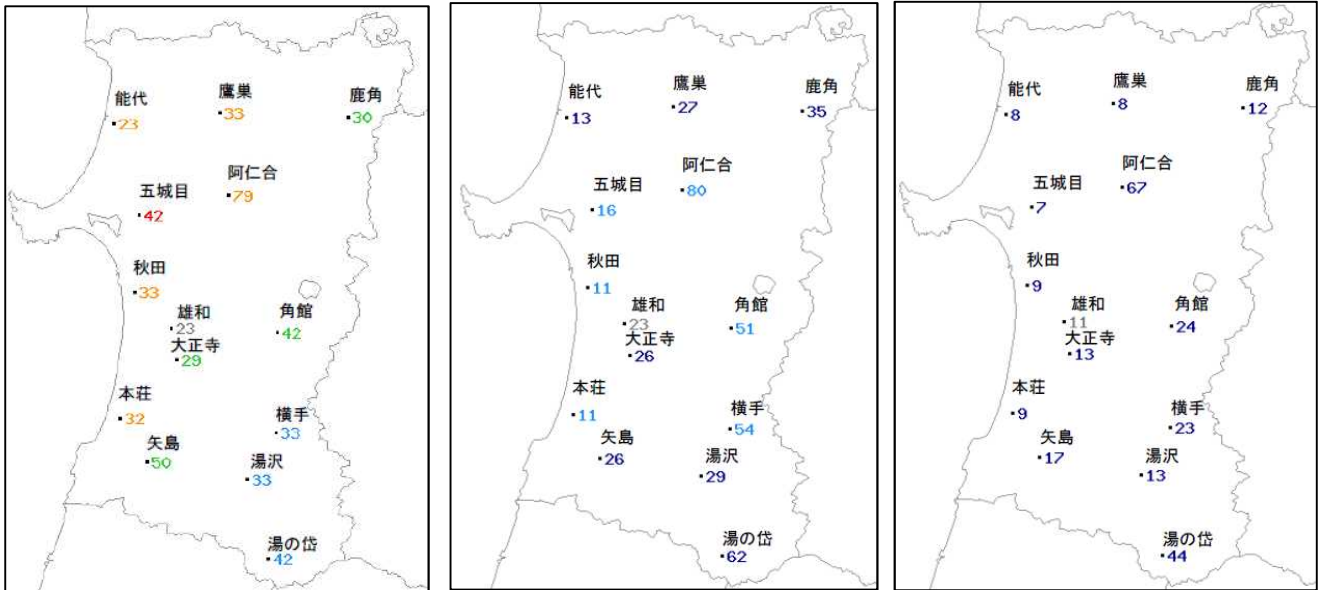
2023年12月

2024年1月

2024年2月



アメダス月別の最深積雪観測値 (単位: cm)

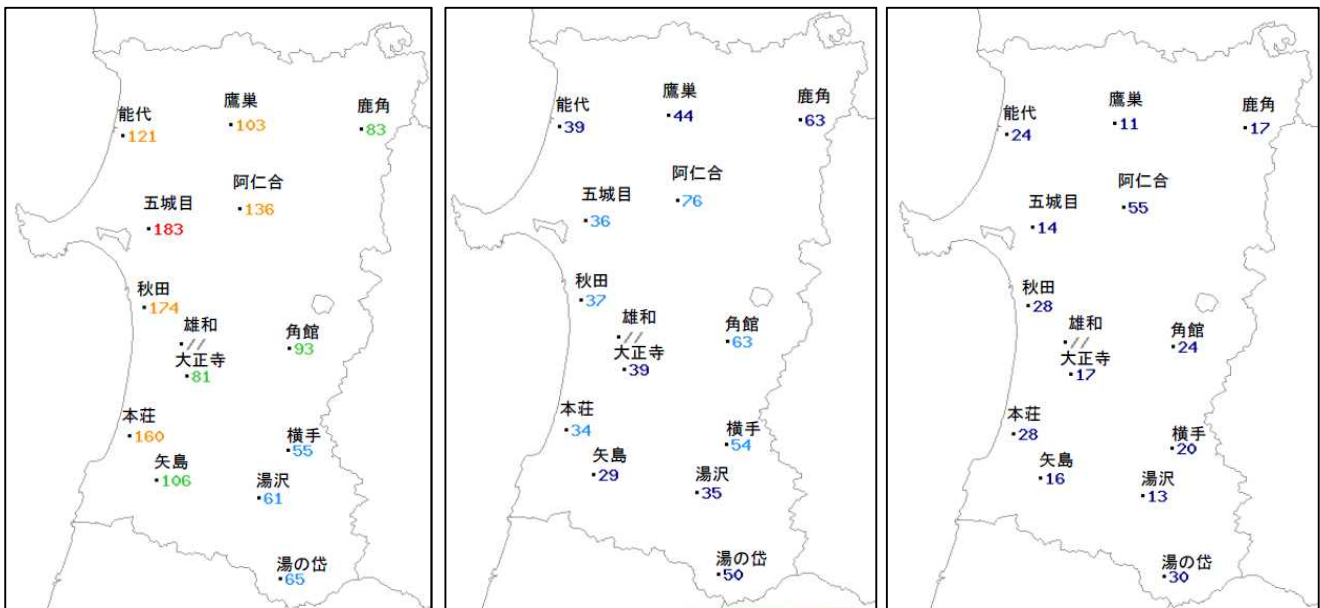


2023年12月

2024年1月

2024年2月

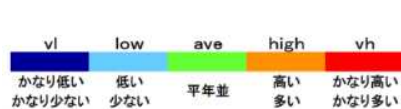
アメダス月別の最深積雪平年比 (単位: %)



2023年12月

2024年1月

2024年2月



値	正常値
—	現象なし
値)	準正常値
値]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし
notdef	階級区分なし

最新の月のまとめは秋田地方気象台 HP : <https://www.data.jma.go.jp/akita/data/tenkou/tenkou.html>

【東北地方の3か月予報（4月～6月までの天候の見通し）】 2024年3月19日発表

東北地方 3か月予報（04月～06月）		
2024年03月19日14時00分 仙台管区気象台 発表		
04月～06月	気温	平均気温は、高い確率50%です。
04月	天候	東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
05月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
06月	天候	期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

気温、降水量の各階級の確率（%）			
気温	東北地方	04月～06月	
		04月	
		05月	
		06月	
降水量	東北地方	04月～06月	
		04月	
		05月	
		06月	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

次回発表予定等	
次回は2024年04月23日(火)14時00分に発表予定	
なお、4月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。 また、新しい予測資料を踏まえ暖候期の天候について検討しましたが、2月20日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。	

最新の季節予報は気象庁 HP :

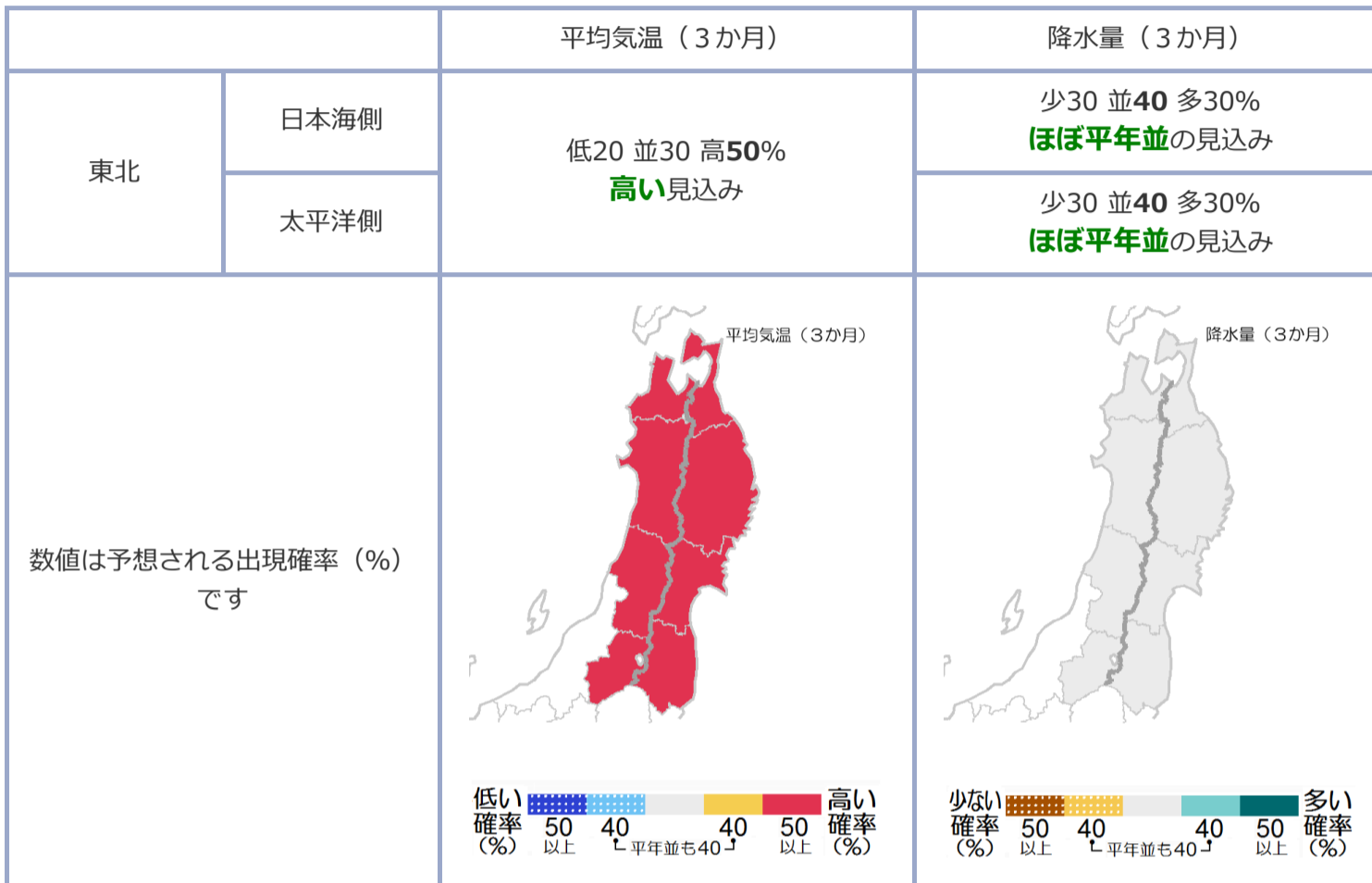
[https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area\\_type=offices&area\\_code=050000&term=1month](https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=050000&term=1month)

向こう3か月の天候の見通し  
東北地方（04月～06月）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。

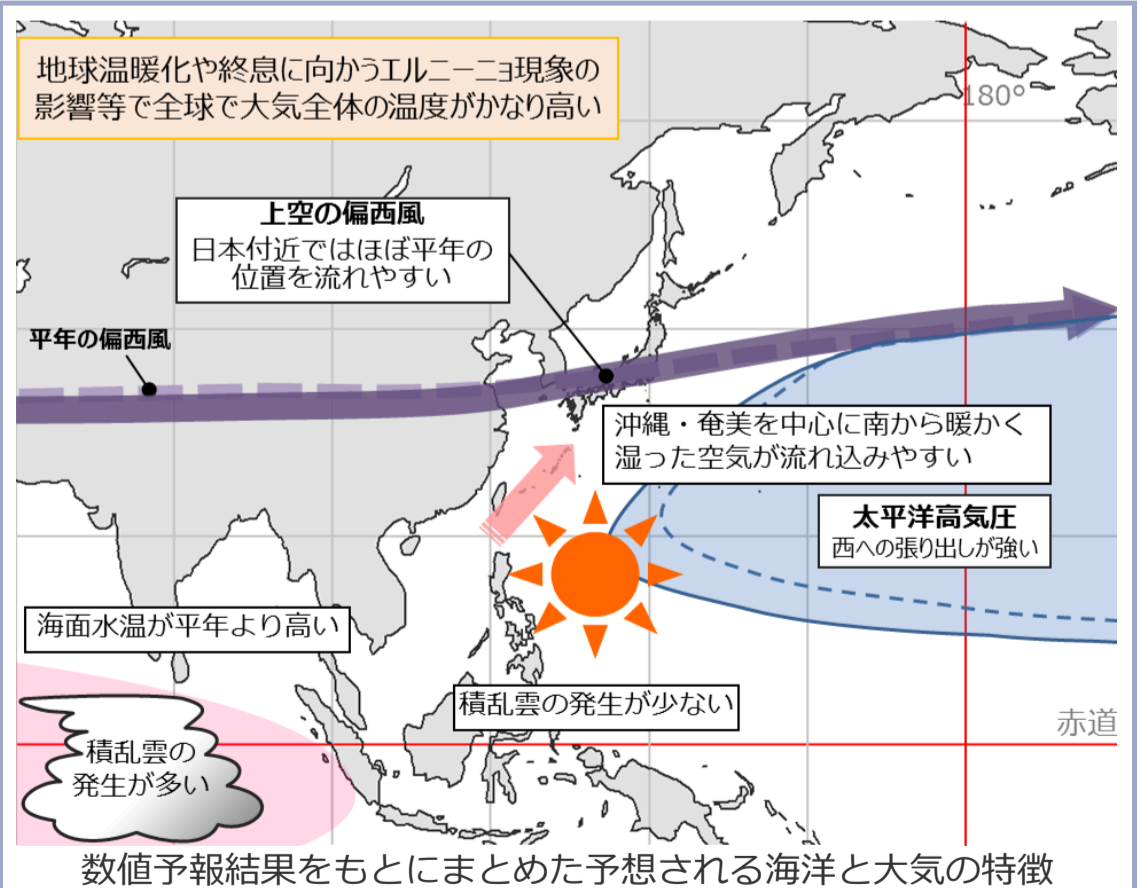
3か月の平均気温・降水量



季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/tohoku3.html>）をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化や終息に向かうエルニーニョ現象の影響等により、全球で大気全体の温度がかなり高いでしょう。
- インド洋熱帯域で海面水温が高く、積乱雲の発生はインド洋熱帯域で多い一方、フィリピン付近で少ないでしょう。
- この影響により、日本の南で太平洋高気圧の西への張り出しが強くなり、日本付近には南から暖かく湿った空気が流れ込みやすくなるでしょう。
- これらのことから、東北地方を含め日本付近は暖かい空気に覆われやすくなるでしょう。



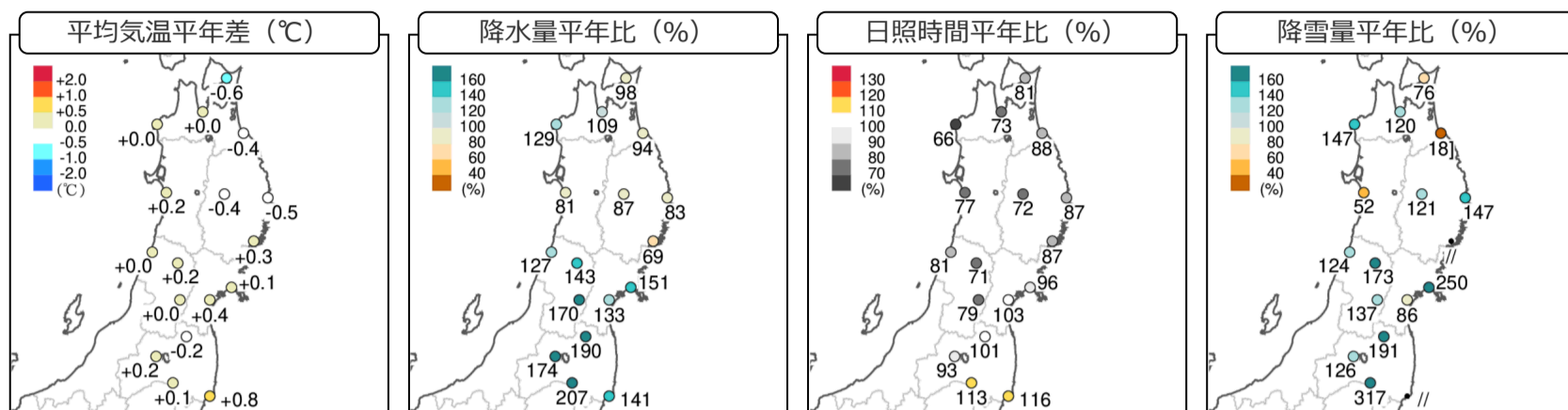
04月	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。</li> <li>東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</li> </ul>
05月	<ul style="list-style-type: none"> <li>天気は数日の周期で変わるでしょう。</li> </ul>
06月	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。</li> </ul>

月別の平均気温・降水量

		平均気温 04月	平均気温 05月	平均気温 06月
東北地方		低20 並 <b>40</b> 高40% <b>平年並か高い</b> 見込み	低20 並 <b>40</b> 高40% <b>平年並か高い</b> 見込み	低20 並 <b>40</b> 高40% <b>平年並か高い</b> 見込み
数値は予想される出現確率 (%) です		<p>平均気温 4月</p>	<p>平均気温 5月</p>	<p>平均気温 6月</p>
		<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上</p>	<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上</p>	<p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上</p>

		降水量 04月	降水量 05月	降水量 06月
東北	日本海側	少30 並 <b>40</b> 多30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少30 並 <b>40</b> 多30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少30 並 <b>40</b> 多30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み
	太平洋側	少30 並 <b>40</b> 多30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少30 並 <b>40</b> 多30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少30 並 <b>40</b> 多30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です		<p>降水量 4月</p>	<p>降水量 5月</p>	<p>降水量 6月</p>
		<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上</p>	<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上</p>	<p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40 以上</p>

- 低気圧の影響を受けやすく、期間の前半には寒気の影響を受けやすかったため曇りや雨または雪の日が多くなりました。このため、降水量は平年を上回り、日照時間は平年を下回りました。また、降雪量は平年を上回りました。
- 気温は、平年と同値でしたが、期間の前半は寒気の影響を受けやすく、後半は南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温の変化が大きくなりました。



(実況) 03/01~03/17	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比	降雪量平年比
東北地方	0.0℃	129%	87%	148%
東北日本海側	+0.1℃	133%	77%	126%
東北太平洋側	0.0℃	125%	94%	170%
東河北部	-0.2℃	94%	79%	111%
東海南部	+0.2℃	160%	95%	176%

4月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。  
また、暖候期の天候について新しい予測資料を踏まえ検討しましたが、2月20日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い） 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い（多い） 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない） 見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない） 見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/tohoku3.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

